工都延岡・宮崎県北地域

開発力と連携で販路開拓に挑む

宮崎県延岡市は旭化成発祥の地。同市を中心とした県北地域は旭化成グループの拠点工場が多く、地場企業群が集積する工業都市として発展してきた。ただ同社が従来の繊維、化学分野から成長が期待されるメディカル、エレクトロニクス分野へと事業の軸足を転換させる中で、その変化に対応できない地場企業は岐路に立たされている。そこで同市は2007年に官民で「工業振興ビジョン」を策定。地場企業の競争力強化に乗り出した。ビジョン策定から6年目を迎えて直面する課題解決に挑む県北地域の動向を、清本英男宮崎県工業会県北地区部会（清本鐵工社長）会長のインタビューとともに紹介する。

競争力強化に注力

延岡市にある旭化成工場群

延岡市工業振興ビジョンは工業活性化の基盤構想としての位置づけで、地場企業の10年後のあるべき姿、その具現化を図る行動計画として策定された。旧態依然とした状況から脱却し、危機感を持って生産の効率化、人材育成、販路拡大などに取り組む地場企業の生き残り戦略を示している。

ビジョンが掲げるテーマは三つ。「中核と地場の技術的結びつきによる延岡版コンビナートの構築」「一次産業を活用した高付加価値新事業の創出」「対外的競争力のある自Y型不業辞の集積」だ。

具体的には旭化成や旭有機材工業といった中核企業を地域資源ととらえ、これを最大限活用する。中核が持つコア技術にキャッチアップすることで高度発注案件に対応。地場と中核との技術的密着度を高める。

また同市の豊かな農林水産資源などを生かした一次産業とその関連加工業を活用する。一次産業が抱える課題やニーズの中には高付加価値のニュービジネスのヒントもあり得る。

こうして培った技術開発力と強固な連携により、販路開拓力の高い企業群を形成。域内での取引に留まらず、域外に打って出る体制をビジョンは目指している。

ビジョンを推進してきた11年度までの5年間は課題を洗い出し、一定の成果を生んだ。中核と地場との技術連携では、域外に発注される仕事に歯止めをかけようと、地場5社が延岡精密機器設計製作有限責任事業組合（延岡LLP）を08年に設立。

各社が得意とする設計加工、メンテナンスなどをワンストップで実現する体制を築き、中核以外からも受注に成功したという。吉玉精鍍（延岡市）の吉玉典生社長は「技術力が向上し、異業種分野と交流する機会も増えた。今後は各社がリーダーとなり、ネットワークを組織した幅広い受注活動に期待したい」という。

10年には宮崎県工業会県北分室（同）が設置され、中核と地場間を橋渡しする専門員1人も配置された。金丸正一専門員は「地場企業は機械加工に強みがある。ただ従来のように中核企業から地場企業に仕事が入る時代ではない」と指摘する。

加工やメンテナンスなど地場企業が得意とする仕事は減る一方で、「これからは発注側に提案できる設計力が必要だ。単独で難しいなら設計力を持つビジネスパートナーと組んで競争力を強化することが大切」（金丸専門員）と、企業訪問した際には訴えている。

設計提案力強化を

11月27日に開催された「県北ものづくり交流展2012」

こういった専門員の地道な支援などが取引拡大のチャンスを作り、12年11月末には同市で「県北ものづくり交流展2012」が開かれた。11年に続き2回目となるが、地場19社が製品開発力を紹介して積極的に販路拡大に挑んだ。

また一次産業を活用した新事業創出では、チョウザメ養殖に3社が参入。若手農業者と地場との意見交換会も開かれるなど、農業分野からのニーズ抽出も活発だ。

さらにモノづくり人材育成の強化では、工業高校生向けに企業説明会を行う一方、若手企業経営者などを対象に将来の地域の担い手となる次世代リーダー育成塾「こころざし」を行っている。

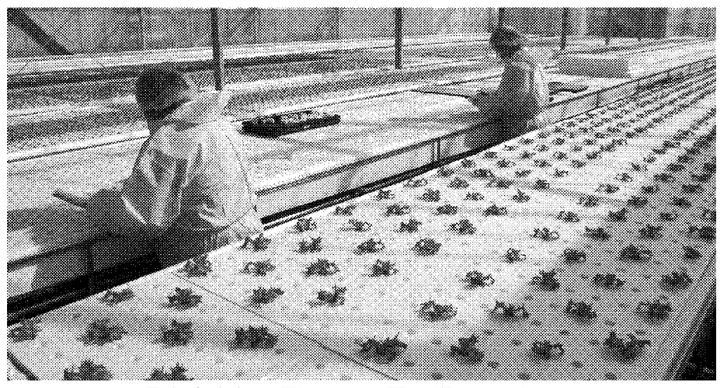
同塾は内外から講師を招いた勉強会を毎月開き、自社の企業戦略を練り上げるリーダー育成が注目。講義期間は2年間。このほど2期生が入塾した。1期生で新たに農業分野に参入した日向中島鉄工所（日向市）の島原俊英社長は「入塾して新事業を立ち上げる仲間ができた。地域に根ざした企業である以上、自社の将来を考えるなら地域産業の活性化なしではあり得ない」と同塾で学ぶ意義を説く。

地場企業の技術支援機関である宮崎県機械技術センター（延岡市）でも人材育成に余念がない。10年には「設計生産技術研究会」を立ち上げた。地場の設計提案力強化に向け「最新の3次元測定機や立体形状撮影システムなどを導入した」（平田泰久所長）と、地場が求めるピンポイントの支援体制を強調する。

農業分野からニーズ抽出
次世代リーダー育成に注目

ビジョンを推進してきた同市商工観光部工業振興課は「期待する成果はこれから。とくに地場企業の設計提案力の底上げが地域の共有課題として認知されたことが、今後課題を克服する強みとなる」と分析する。

今後の事業展開の加速が期待される中、10年度は医療機器開発の拠点を目指す「東九州メディカルバレー構想」を大分、宮崎両県が策定。これを受け同市も「メディカルタウン構想」を策定した。同市は同構想の拠点となるだけに、今後も県北地域の力強い工業振興から目が離せない。


日向中島鉄工所などが共同出資で設立した
ひむか野菜光房門川工場（門川町）で生産されるレタス

宮崎県工業会県北地区部会会長
清本（きよもと） 英男（ひでお）氏に聞く

―2007年に官民で「延岡市工業振興ビジョン」を策定しました。現状をどう見ていますか。

「ビジョンの進行具合を山に例えるなら、五合目程度まで来ているのではないだろうか。中核企業の旭化成などとの技術連携や取引拡大に向け、地場企業は設計力強化や共同受注を行う延岡LLPを設立した。一次産業分野でのビジネス創出では作物を荒らすシカやイノシシ対策を検討。地元漁協と連携してハモの骨切り機や養豚場でのふん尿処理機開発に注力する。チョウザメ養殖へ参入した企業もある。人材育成では次世代リーダー育成塾『こころざし』の1期生が、農業参入するなどの成果が生まれた」

―**課題は。**

「中核企業との技術連携、取引拡大では地場企業が装置関連で仕事を受注しようとするが、既存装置メーカーの技術レベルに追いつくにはまだ時間がかかるようだ。共同受注は運営面での課題も見えてきた。また積極的に取り組む一次産業では農業の高付加価値化に対して地場企業の技術をどう生かすかが焦点だ。現在若手農業者などと意見交換会を開き、さらなるニーズを抽出している」

―**今後の期待は。**

「具体的な成功事例を積み上げ、地域一体となって応援していくことが肝心だ。地場企業も自社技術をさらに高めて国内外で勝負してもらいたい。ビジョンを進める中で地場企業の意識改革も進んでいる。次代を担うリーダーも育っており、今後の取り組みが楽しみだ」

次代を担う人材に期待

精密な加工技術と品質管理
加工能力0.5φ～50φの丸物複合加工
・長尺物の複合加工　・精密小物（マイクロバース）□φ0.5～φ3まで　・精密小物バース □φ3～φ8までの複合加工
NC自動旋盤加工
株式会社甲斐製作所　〒882-0071 宮崎県延岡市天下町1176-17（クレアパーク延岡）TEL0982-38-0890 FAX0982-38-0853

SPG膜を利用したナノテクノロジー
400nm～200μmの気泡を生成
応用可能性分野
化学工学・医用工学
機能性食品・多孔質材料
・ガス熔解、泡沫分離、洗浄
・気液反応プロセス
・細胞、微生物培養
・高感度超音波造影剤
・ドラッグデリバリー（DDS）
・光学材料、独立気泡多孔体
・気泡含有食品、ゲル食品
ナノ・マイクロバブル生成装置
宮崎県工業技術センターと共同開発した製品
株式会社キヨモトテックイチ
〒883-0067 宮崎県日向市亀崎東1丁目25番地1
TEL:0982-52-5258 FAX:0982-52-5773

＊機械製作・設備工事・保守など工場の自動化・省力化・効率化に貢献いたします＊
営業種目
食品機械・設備、設計・製作・据付・保守
各種プラント、設計・施工
産業機械・省力化機械、設計・製作
管工事業、鋼構造物工事業、機械器具設置業
株式会社日向中島鉄工所
代表取締役社長 島原 俊英
宮崎県日向市大字日知屋17148-9（細島工業団地4区）
TEL:(0982)52-7215 FAX:(0982)52-7216
URL : http://www.hn-t.co.jp

モノづくり　人づくり
日刊工業新聞は応援します

誠実に、着実に、そしてスピーディーに
お客様の信頼にお応えします。
KOYO 向陽鉄工株式会社
本社:延岡工場／宮崎県延岡市大武町39番地5
TEL（0982）34-2551　FAX（0982）21-4691
http://www.koyo-t.com
東京:川崎:千葉:水島:守山:鈴鹿

・ISO9001認証取得
・医療機器製造業許可取得
・ISO13485取得予定（2013年12月）
事業内容
■射出部門
●射出成形品（医用部品）
●医療機器製造受託
■印刷部門
●医用ラベル（医薬品・医療機器等）
●一般ラベル ●食品用シール
●ホットメルト
■発泡部門
●発泡スチロール（水産・農業）
●パワーフロート ●緩衝材
●盛土用ブロック ●医用向け資材
●農水産用資材
安井株式会社
本社・工場 〒889-0697 宮崎県東日杵郡門川町大字加草2725番地
(代)TEL(0982)63-7111 FAX(0982)63-7130
□鹿児島製造所・営業所 □福岡営業所 □日南営業所
http://www.yasui-kk.co.jp

できたらいいなをカタチにする。
ベストソリューションを提案しお客様を支える技術商社
「事業内容」
・制御機器　・メカトロ機器　・電気機器　・空圧機器
・IT関連機器　・自動化システム　・空調機器
・クリーンエネルギー・ロボットシステム販売及びメンテナンス
宮安電機株式会社
代表取締役 井上 透
本社／宮崎県延岡市伊達町1丁目9番地（〒882-0874）
TEL.0982-33-4674 FAX.0982-21-0319
●宮崎営業所 ●ITソリューション事業部 E-mail:miyayasu@mnet.ne.jp
http:www.miyayasu.co.jp

街とともに歩む 技術・創造・挑戦の
株式会社興電舎
代表取締役 甲斐 稔康
本社 〒882-0862 宮崎県延岡市浜町222番地1
TEL 0982-33-3602 FAX 0982-33-3684
宮崎支店・日南事業所・大分事業所・福岡営業所
URL http://www.kodensya.co.jp

昨日まで世界になかったものを。
AsahiKASEI
旭化成株式会社 延岡支社
www.asahi-kasei.co.jp

環境保全を使命とし、
技術向上の歩みを
たゆまず続けて
まいります。
プラスチックバルブで世界をリードし、
鋳造用樹脂やフェノールフォーム用樹脂でも
国内トップシェアを有しています。
旭有機材工業株式会社
延岡本社／宮崎県延岡市中の瀬町2-5955 TEL.0982-35-0880
東京本社／東京都港区浜松町2-4-1 TEL.03-3578-6001

宮崎県の「モノづくり」をサポート
精密測定室Ⅱ／CNC三次元測定機
分析顕微鏡室／マイクロスコープ
設計技術室／ラピッドプロトタイピング装置
材料試験室／万能材料試験機
設備利用の開放、技術相談、材料試験の受託、新しい技術や基礎的な講習会まで。
宮崎県機械技術センター
指定管理者 (財)宮崎県機械技術振興協会
〒882-0024 宮崎県延岡市大武町39-82（鐵工団地内）
TEL 0982-23-1100 FAX 0982-23-1104
URL http://www.mmtc.or.jp E-mail info@mmtc.or.jp

ヒューマン・テクノロジーをめざして
過熱蒸気調理装置スーパーオーブン
【キヨモトの産業機器】
■食品機械　■火力、原子力発電用機器
■一般産業機械　■木質バイオマス利活用プラント
■鋼構造物製作　■汚水処理プラント
キヨモト 清本鐵工株式会社
本社・延岡工場／〒889-0595宮崎県延岡市土々呂町6-1633
TEL（0982）24-1111 FAX（0982）24-1145
http://www.kiyomoto.co.jp
東京・関東・富士・大阪・倉敷・佐賀・大分・長崎・日向・都城